



日本初!? 仮名加工情報を用いたデータサイエンス協定を締結

古賀市と福岡工業大学は、仮名加工情報^{※1}を用いたデータサイエンス^{※2}に協力して取り組むため、連携協定を以下の日程で締結します。

高齢者実態調査などの各種調査の事後分析や選挙の投票率など、様々な分野でデータ分析を積極的に活用することで、市の課題解決とさらなる自治体 DX の推進につなげていきます。

※1 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律第 51 条により、令和 5 年 4 月から個人情報保護条例が個人情報保護法に統合されることになり、地方公共団体においても「仮名加工情報」が利用できるようになります。個人を特定できるような情報（名前や住基コードなど）を削除、または置き換えたもので、AI や機械学習、統計分析などでの利活用が期待されています。

※2 情報科学、統計学などの手法を横断的に用いて、大量のデータから新たな知見を発見する試み。

■実施日時など

協定名 「仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定」

日時 令和 4 年 11 月 7 日(月) 10 時～

場所 古賀市役所 402 会議室

出席者 古賀市長 田辺一城、福岡工業大学 学長 しもむら 下村 てるお 輝夫

■目的など

古賀市では、今後到来する超高齢社会に備え、あらゆる分野にデータを積極的・効果的に利活用することで、予算や人的・物的資源を適正配分するとともに、さらなる自治体 DX の推進につなげていきます。

福岡工業大学は PBL (Project Based Learning: 課題解決型学習) などにおいて、古賀市が直面している社会課題を取り上げるなど、実データを用いて解決を目指します。

■参考

経済産業省の「IT 人材需給に関する調査」によると、2030 年時点で AI 人材が最大 12.4 万人不足すると言われてはいますが、実データを用いた演習・研究を経験することで、実践的な分析スキルの習得につながり、優秀な AI 人材育成につながります。



【問い合わせ先】

古賀市 デジタル推進課 内

電話：092-942-1116

学校法人福岡工業大学 学術支援機構 社会連携室 山田

電話：092-606-7430